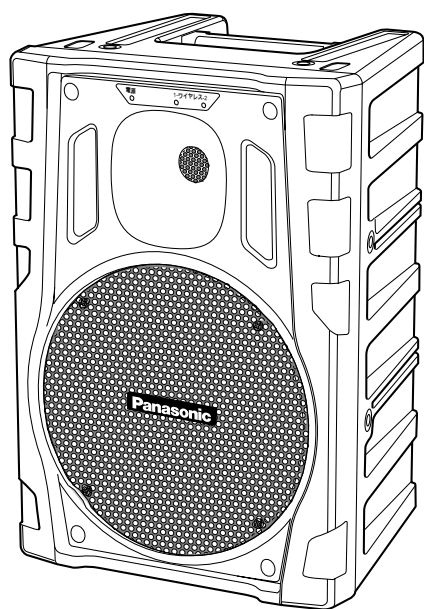


ワイヤレスパワードスピーカーシステム / パワードスピーカーシステム 取扱説明書

工事説明付き

品番 **WS-X77 / WS-77**



本機は屋内専用です。
屋外では使用しないでください。

上手に使うって上手に節電

もくじ

ご使用前に

はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
使用上のお願い	6

操作

各部のなまえ	7
前面	7
後面	8
操作のしかた	9
有線マイクを使って拡声する	9
ワイヤレスマイクを使って拡声する ...	10
周波数を設定する	11

工事説明

接続のしかた	12
CDやMDなどを接続する	12
本機の出力端子に他の機器を接続する ...	14
設置のしかた	16
設置上のお願い	16
スピーカースタンドへの取り付けかた ...	16
取付金具の取り付けかた	17
アイボルトの使いかた	17

その他

故障かな!?	18
仕様	19
保証とアフターサービス	裏表紙

保証書別添付

このたびは、ワイヤレスパワードスピーカーシステム / パワードスピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

- WS-77 : アンプ内蔵のパワースピーカーです(ワイヤレスチューナーは内蔵していません)。
WS-X77 : アンプ内蔵のパワースピーカーで、PLLダイバシティワイヤレス受信機(PLL: Phase Locked Loop)およびアンテナが2波分内蔵されています。

本文中、WS-X77固有の説明には **X77** マークをつけて区別しています。

- 60 Wアンプを内蔵しています。
- 低音用: 20 cmコーン型、高音用: 2.5 cmドーム型の2ウェイバスレフ型で、広帯域、高明瞭度のスピーカーシステムです。
- マイク入力やライン入力をミキシングして入力できるなど多彩なミキシング機能を有し、幅広い用途で使用できます。
- 低域の重なりを抑さえるローカットスイッチを内蔵しています。本機を複数台ご使用の際の低域の重なりが抑えられて明瞭度が向上します。
- 800 MHz帯PLLワイヤレスマイク(別売品)を組み合わせて使用可能です。ワイヤレスマイクと組み合わせて使用することにより、プレゼンテーション用ワイヤレスシステムとして使用できます **X77**。
- 800 MHz他のワイヤレス機器と共用可能です **X77**。
ワイヤレスパワースピーカーシステムは、受信周波数のグループ切替スイッチおよびチャンネル切替スイッチがあります。例えば、ワイヤレスパワースピーカーシステムを近接した会場で複数台使用する場合、機器ごとにグループまたはチャンネルを切り換えることにより同時に使用することができます。
他のワイヤレス機器と異なるグループまたはチャンネルに設定することによって、他のワイヤレス機器と共用できます(ただし、同一空間では最大6波までです)。
- ダイバシティ内蔵 **X77**
受信用アンテナとしてダイバシティ方式*1のアンテナを内蔵しており、音切れの少ないクリアな音声を実現できます。

*1 ダイバシティ方式とは

受信感度の良いアンテナ()を自動的に選択し、電波を受信する方式。受信不良による音切れを低減できる効果があります。

付属品をご確認ください

電源コード	1	M8用平座金	2
防塵カバー	1	チャンネル切替用ドライバー X77	1
M8アイボルト	2	取扱説明書(本書)	1
M8ナット	2	保証書	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にしていると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

油の付着しやすい場所に設置しない



禁止

取付部が劣化して、落下などの事故の原因になります。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグを破損するよう
なことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショール
ト・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で
絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱に
よる火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないで
ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使
い方や、交流100V以外での使用はしな
い



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱
による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、電源プラグ
の抜き差しはしない



感電の原因にな
ります。

ぬれ手禁止

電源コードは、必ずプラ
グ本体を持って抜く



コードが傷つき、
火災や感電の原因
になります。

電源コードを熱器具に
近づけない



コードの被膜が溶
けて、火災や感電
の原因になります。

指定以外の端子に電源
(AC100V)を接続しない



禁止

ショートして火災
や感電の原因にな
ります。

幼児の手の届くところに
置かない



禁止

チャンネル切換用
ドライバーを飲み
込んだり、防塵カ
バーを頭からかぶ
ったりすると、死
亡や重傷の原因に
なります。

⚠ 注意

配線はアンプの電源を切っ
てから行う



感電の原因になりま
す。

コネクターの抜き差しは
電源を切ってから行う



クリック音でスピー
カーが破損する恐れ
があります。

持ち運ぶときは
コード類をすべて抜く



コードに足をかけた
りして、けがの原因
となります。また、
コードが傷つき火災
や感電、故障の原因
になります。

ねじや固定機構はしっかり
と締め付ける



締め付けが緩むと落
下などでけがの原因
になります。

人がぶつからない高さに
取り付ける



けがの原因になりま
す。

湿気やほこりの多い場所
に設置しない



禁止

火災や感電、故障の
原因になります。

屋内用を屋外に設置しない



禁止

屋内用機器を屋外に
設置すると、雨など
で取り付け部が劣化
し、落下など事故の
原因になります。

ケーブルを傷つけない



禁止

重い物を載せたり、
はさんだりすると、
ケーブルが傷つき、
火災や感電の原因に
なります。

金属のエッジで手を
こすらない



禁止

強くこすると、けが
の原因になります。

ぶら下がらない



禁止

けがの原因になりま
す。

踏み台や腰掛けにしない



禁止

けがの原因になりま
す。

落とさない



禁止

けがの原因になりま
す。

●ねじは正しく締めてください。

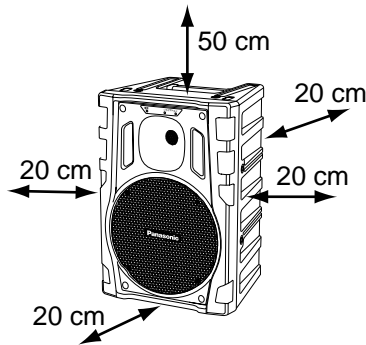
使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目もお守りください。

本機を使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

本機は電源スイッチが「切」で電源表示LEDが消えていても、電源から遮断されているとは限りません。電源から遮断するときは、本機の電源プラグを抜くか、本線を接続している分電盤のブレーカーを切ってください。また、本機を設置するときは、電源コンセントやブレーカーへ容易に手が届く場所に設置してください。

本機を使用する際は本機の上面部は50 cm、前面部、後面部、側面部はそれぞれ20 cm以内に物を置かない



ケーブルの抜き差しは、本機の電源を切ってから行う

電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しを行うと故障の原因となります。

本機は話す人の前に置く

後方に置くと、スピーカーの音がマイクに入りハウリングを起す場合があります。

ワイヤレスマイク1を使用するときは、マイク1入力端子に有線マイクを接続しない

マイク1入力端子にマイクを接続すると、ワイヤレスマイクを使用できなくなります（有線マイクが優先されます）。

ワイヤレスマイクを使用するときは、本機をワイヤレスマイクから直視できる位置に設置する

X77

アンテナ付近に障害物があると、到達距離が短くなる場合があります。

雑音源の近くで使用しない

X77

雑音源の近く（同じ周波数の電波または高周波を発生する機器の近く）で使用すると、雑音が入ることがあります。また、送信所の送信アンテナ直下で使用すると、電波を受信しにくくなる場合があります。

XH帯の送信機の近くでは使用しない

X77

XH帯（783.625 MHz ~ 787.875 MHz）の送信機の近くで本機を使用しないでください。混信するおそれがあります。

ワイヤレスマイクは本機から30 m以内の距離で使用する

X77

ワイヤレスチューナーの到達距離は30 m以内です。

防塵カバーをしたままで電源を入れない

温度が上がり、火災や故障の原因となります。

お手入れは

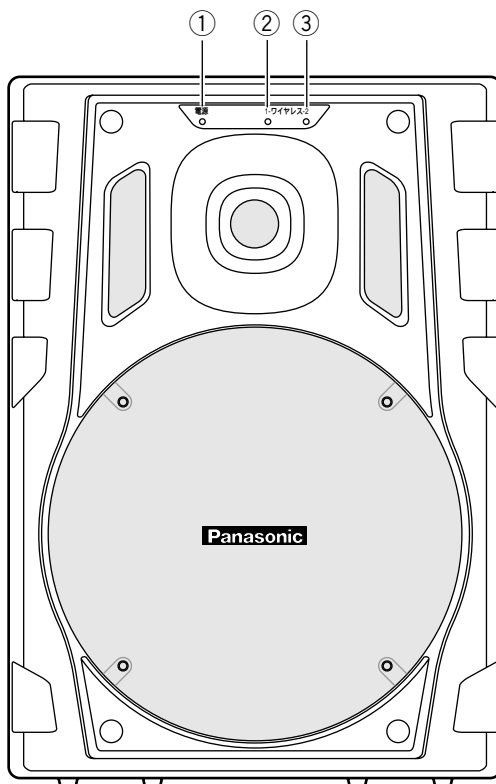
本機の電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。

シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

各部のなまえ

前面

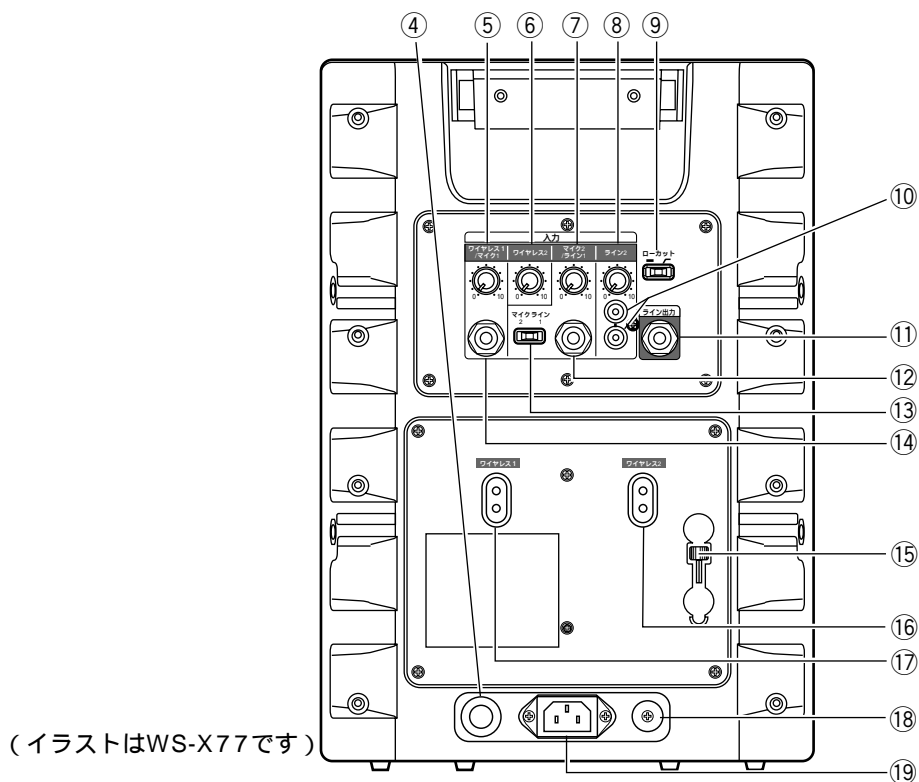



(イラストはWS-X77です)

- ① 電源表示LED
電源スイッチが「入」のとき点灯します。
- ② ワイヤレス1受信表示LED **X77**
ワイヤレスマイク1の電波を受信しているとき点灯します。
- ③ ワイヤレス2受信表示LED **X77**
ワイヤレスマイク2の電波を受信しているとき点灯します。

各部のなまえ（つづき）

後面



- ④ 電源スイッチ
押して電源を「入/切」します。
- ⑤ マイク1/ワイヤレス1音量調節つまみ
マイク1に有線マイクを接続している時はマイク1の音量調節を、接続していないときはワイヤレスマイク1の音量調節をします。
- ⑥ ワイヤレス2音量調節つまみ
- ⑦ マイク2/ライン1音量調節つまみ
- ⑧ ライン2音量調節つまみ
- ⑨ ローカットスイッチ
本機を複数台ご使用の場合に、低域が重なって明瞭度が損なわれるときは、ローカットスイッチを  側にしてご使用ください。低域の重なりが抑えられて明瞭度が向上します。
- ⑩ ライン2入力端子 (-12 dBV, 10 k Ω , 不平衡)
L・R信号を内部でミックスします。
- ⑪ ライン出力端子 (0 dBV, 100 Ω , 不平衡)
すべての入力のミックス出力です。
- ⑫ マイク2/ライン1入力端子 (-12 dBV, 10 k Ω , 平衡)
マイク2: -55 dBV, 600 Ω 、電子バランス、
ライン1: -12 dBV, 100 Ω 、電子バランス
- ⑬ マイク2/ライン1入力切換スイッチ
- ⑭ マイク1入力端子 (-55 dBV, 10 k Ω , 不平衡)
フォンジャックです。有線マイクを接続します。
- ⑮ チャンネル切換用ドライバー取付用クランプ **X77**
付属のチャンネル切換用のドライバーを取り付けるときに使用します。ドライバーの先端を下向きにしてクランプに差し込んでください。
- ⑯ ワイヤレス2グループ/チャンネル設定スイッチ **X77**
ワイヤレスマイク2を使用するとき周波数のグループとチャンネルを設定します。
- ⑰ ワイヤレス1グループ/チャンネル設定スイッチ **X77**
ワイヤレスマイク1を使用するとき周波数のグループとチャンネルを設定します。
- ⑱ Signal GND端子
- ⑲ ACインレット
(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)
電源コード(付属品)を接続します。

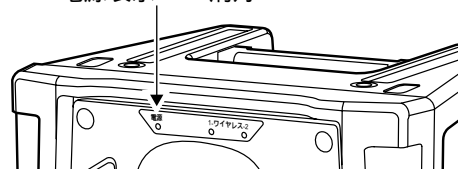
操作のしかた

有線マイクを使って拡声する

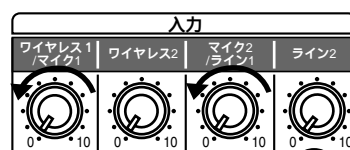
マイク1またはマイク2が使えます。

- 1 電源が「切」になっていることを確認する。
電源表示LEDが消灯していることを確認します。

電源表示LED 消灯

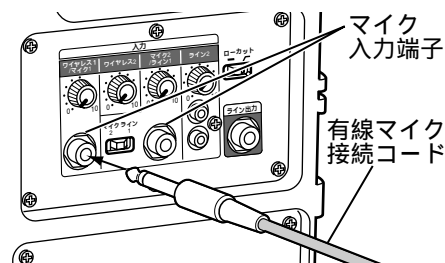


- 2 マイク音量調節つまみを最小にする。

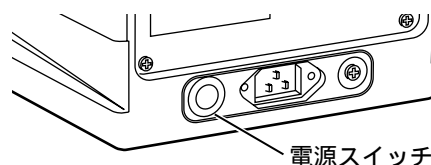


- 3 マイクを接続する。
本機後面のマイク入力端子に有線マイクを接続します。
マイク2を使うときは、マイク2 / ライン1入力切換スイッチを「マイク2」側にします。

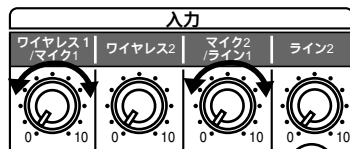
注意 マイク1にマイクを接続すると、ワイヤレスマイク1は使用できません。



- 4 電源を「入」にする。
電源表示LEDが点灯します。



- 5 音量を調節し、マイクに向かって話す。



注意 マイクを接続する前に必ず本機の電源を「切」にしてください。電源が入ったままマイクを接続すると、接続するときに音が雑音となって聞こえてしまいます。

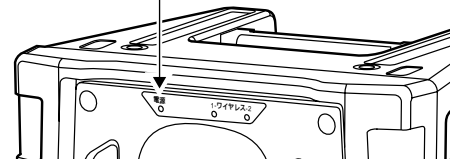
ライン機器を接続している場合 マイクとワイヤレスマイク2の音をミックスして拡声します。

マイクのスイッチを「入/切」するときには マイク音量調節つまみを最小にしてからマイクのスイッチを操作してください。

ワイヤレスマイクを使って拡声する X77

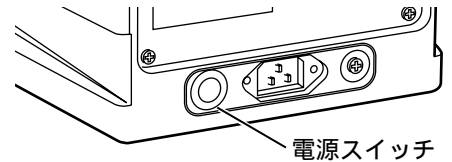
- 1** 電源が「切」になっていることを確認する。
電源表示LEDが消灯していることを確認します。

電源表示LED 消灯



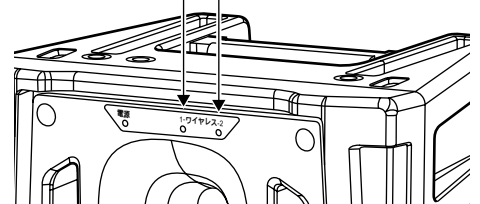
- 2** ワイヤレスチューナーの受信周波数をワイヤレスマイクと同じに設定する
設定のしかたは次ページの「周波数を設定する」をお読みください。

- 3** 電源を「入」にする。
電源表示LEDが点灯します。

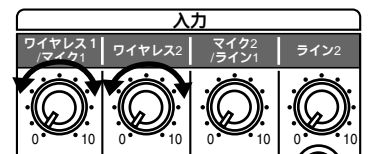


- 4** ワイヤレスマイクのスイッチを「入」にする
ワイヤレス信号を受信すると、ワイヤレス受信表示LEDが点灯します。
ワイヤレスマイクの操作の詳細はワイヤレスマイクの取扱説明書をお読みください。

ワイヤレス受信表示LED 点灯



- 5** 音量を調節し、マイクに向かって話す。



ライン機器を接続している場合

ワイヤレスマイクの音とミックスして音が大きくなります。

マイクのスイッチを「入/切」するとき

マイク音量調節つまみを最小にしてからマイクのスイッチを操作してください。

有線マイクを使用している

マイク1入力端子に有線マイクを接続していると、ワイヤレスマイク1は使用できなくなります（有線マイクが優先されます）。ワイヤレスマイクを使用したいときは、有線マイクを外してください。ワイヤレスマイク2は、有線マイクの有無に関係なく使用できます。

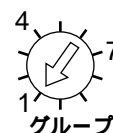
周波数を設定する X77

ワイヤレスマイクを使用する場合、受信周波数の設定が必要です。

次の手順に従って、グループ/チャンネル設定スイッチでワイヤレス1,2の周波数を設定してください。

注意 グループおよびチャンネル設定は、スイッチのクリックをご確認ください。

- 1 付属のドライバーで本機後面にあるグループ設定スイッチの矢印(↑)をワイヤレスマイクのグループと同じ数字に合わせる。



- 2 同じく、付属のドライバーで本機後面にあるチャンネル設定スイッチの矢印(↑)をワイヤレスマイクのチャンネルと同じ数字に合わせる。



受信周波数表
(単位：MHz)

グループ \ チャンネル	1	2	3	4	5	6	7
1	806.125	806.375	807.125	807.750	809.000	809.500	
2	806.250	806.500	807.000	807.875	808.500	808.875	
3	806.625	806.875	807.375	808.250	808.625	809.250	
4	806.750	807.500	808.000	809.125	809.375	809.750	
5	807.625	808.125	808.375	808.750	809.625		
6	807.250						
7	806.125	806.375	806.875	807.500	808.500	809.375	809.750

- 注意
- 受信周波数表にないグループやチャンネルに設定することはできません。受信できないと、ワイヤレス受信表示LEDが点滅表示します。
 - 同時に使用できるワイヤレスマイクは同一グループ内で6波(本機3台)までです。
 - 2つのチューナーユニットのグループ・チャンネルは、同じグループ・チャンネルにしないでください。同じにすると、混信・ビートの原因となります。
 - B型ラムサマイクと本機(B型パナソニック)は、トーン周波数が異なるため共用できません。
 - 同一エリア内で、ラムサのAXH帯の送信機と混用はできません。混信などの原因となります。

同じエリアで同時に本機を複数台使用する場合

グループはすべて同じ数字を設定し、チャンネルは異なる数字を設定してください。
工場出荷時は下記のように設定してあります。

ワイヤレス1.....グループ：1、チャンネル：1

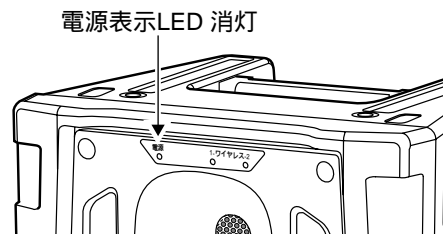
ワイヤレス2.....グループ：1、チャンネル：2

接続のしかた

CDやMDなどを接続する

本機後面のライン2入力端子にCDやMDなどのライン機器を接続して拡声できます。

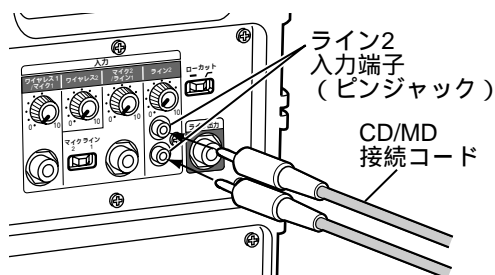
- 1 本機とCD、MDなどのライン機器の電源が「切」になっていることを確認する。
電源表示LEDが消灯していることを確認します。



- 2 ライン2 音量調節つまみを最小にする。

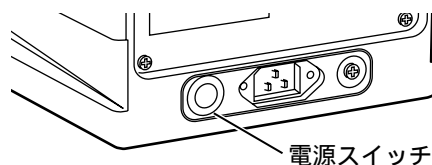


- 3 CDやMDなどのライン機器を接続する。
本機後面のライン2入力端子（ピンジャック）に接続します。L・Rミックスです。



- 4 CDやMDなどのライン機器の電源を「入」にする。

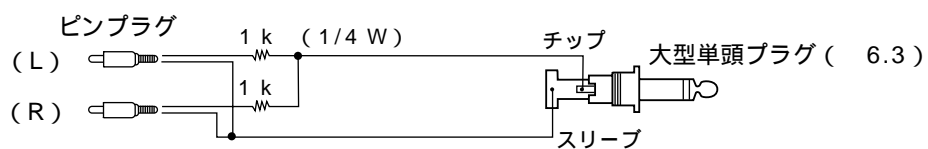
- 5 本機の電源を「入」にする。
電源表示LEDが点灯します。



- 6 音量を調節し、CDやMDを再生する。



- 注意
- L・R信号は内部でミックスされます。
 - ライン1（フォンジャック）にCD、MDなどのステレオライン機器を接続する場合は、下記のケーブルが別途必要です（現地製作）。



接続のしかた（つづき）

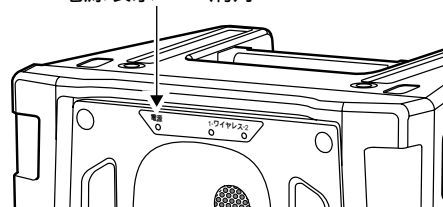
本機の出力端子に他の機器を接続する

本機のライン出力端子に他の機器（入力端子）を接続して、本機に入力された信号を他の機器へ出力することができます。

- 1 本機の電源が「切」になっていることを確認する。

電源表示LEDが消灯していることを確認します。

電源表示LED 消灯

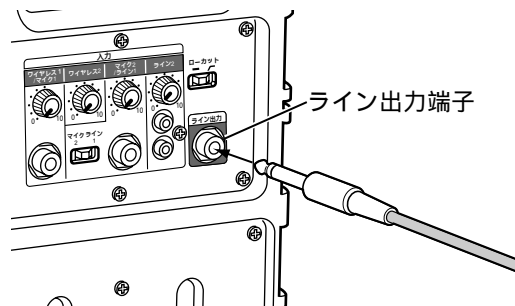


- 2 本機に接続する他の機器の電源も「切」になっていることを確認する。

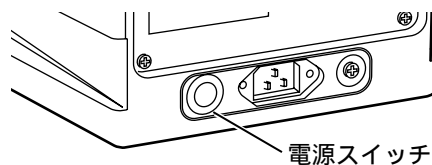
- 3 本機の全ての音量調節つまみを最小にする。
合わせて、接続する機器の音量も最小にする。



- 4 機器を接続する。
本機後面のライン出力端子と他の機器の入力端子を接続します。



- 5 本機の電源を「入」にする。
電源表示LEDが点灯します。



- 6 本機に接続した機器の電源も「入」にする。

7 本機の全ての音量調節つまみを調節する。



8 本機に接続されている機器の音量を調節する。

注意 本機のライン音量調節つまみ、マイク音量調節つまみ・ワイヤレス音量調節つまみが最小になっていると、ライン出力端子に音声が出力されません。

設置のしかた

⚠ 警告

- 本体の不良による落下事故以外の、取り付け方法の不備などによる落下事故に対する責任は一切弊社は負いかねますので、取り付け場所や取り付け方法の設計は十分な注意をお願いします。強度が不足の場合は、十分な補強をし、安全を確認して取り付けてください。
- 設置工事は、専門の工事店に依頼してください。
- 安全のため十分な落下・転倒防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を実施してください。
- 必ず、電源を切ってから設置・接続を行ってください。

設置上のお願ひ

- 本機は、屋内設置専用スピーカーです。屋外軒下などには設置しないでください。
- スピーカーを壁面または天井に取り付ける場合は、スピーカーの質量に十分耐えられるようにアンカーボルトなどの補強を施してください。
- スピーカーを大出力で鳴らすと、床や天井などの構造によっては振動して音質を損ねる場合があります。取り付けによる共振異常音がないよう補強してください。
- 取付金具による共振や異常音が発生しないように十分ご注意ください。
- 変形・変色を防止するため、直射日光のあたる所、冷暖房器の近くなどを避けて設置してください。

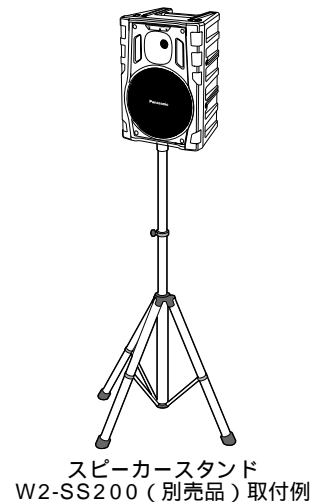
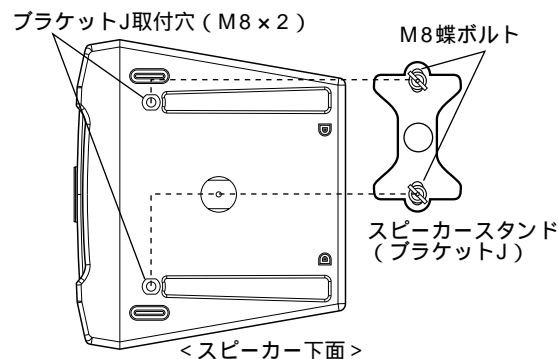
スピーカースタンド（別売品）への取り付けかた

別売のスピーカースタンド W2-SS200またはW2-SS150をご使用ください。また、ご使用になるスピーカースタンドの説明書をよく読んでその指示に従ってください。

スピーカースタンドに付属の蝶ボルト2本でブラケットJをしっかりと固定してください。

W2-SS200 : M8 × 30

W2-SS150 : M8 × 20



⚠ 注意

けがや器物損壊の原因になりますので、以下の内容をお守りください。

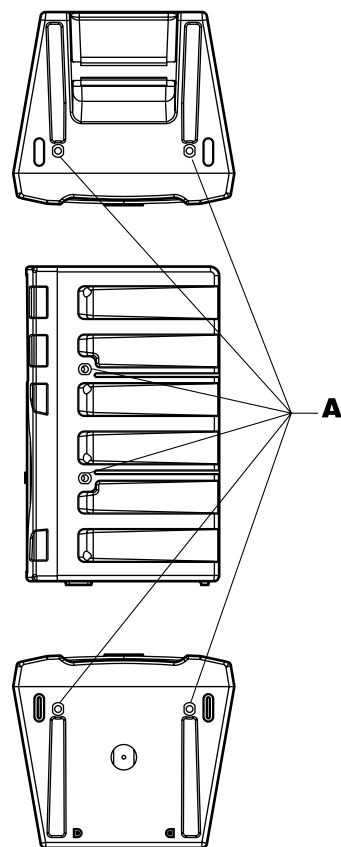
- 移動や高さの調整を行うときは、スピーカーをスタンドから外してください。
- 転倒しやすい場所や足を引っ掛けやすい場所などには設置しないでください。
- スタンドが倒れないように転倒防止を施してください。

取付金具の取り付けかた

- 使用する取付金具の説明書を合わせてよくお読みください。
- 現地で製作した取付金具を右図A（ねじ穴）に取り付ける場合は、次に示すねじ類を必要な個数分、別途準備してください。
 - ・平座金（M8用）
 - ・ばね座金（M8用）
 - ・取付ねじ（M8用）ねじの長さは、下記の範囲でご使用ください。

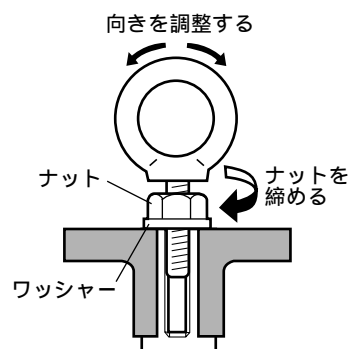
(10+4 + 取付金具の板厚) mmより長く、
(18+4 + 取付金具の板厚) mmより短いこと。
: 座金類の厚さ

- スピーカーを天井や壁に取り付けるときは、付属のアイボルトを取り付け、落下防止ワイヤー（別途調達）などで落下防止対策を行ってください。
- 取り付ける天井や壁が、本機の取り付けに十分な強度があることを確認してください。



アイボルト（付属品）の使いかた

- アイボルトにナットとワッシャーを取り付けます。
- 右図のようにアイボルトをスピーカーに取り付けます。アイボルトは上図Aのねじ穴に取り付けてください。
- アイボルトの向きを調整した後、ナットをレンチで締め付けます。



故障かな!?

ご使用中に故障かなと思われる症状が生じたときは、下表の内容を確認してください。

症状	原因	対策	ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込みます。	-
音が出ない	各音量調節つまみが小さくなっていませんか？	各音量つまみを数字の大きい方に回してください。	9ページ
受信表示LEDが点灯しない(受信しない) X77	グループ、チャンネルの設定がワイヤレスマイクと合っていますか？	グループ、チャンネルをワイヤレスマイクと合わせてください。	11ページ
	ワイヤレスマイクの電源スイッチは「入」になっていますか？	ワイヤレスマイクの電源スイッチを「入」してください。	-
	ワイヤレスマイクの乾電池は消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。	-
	周波数帯域が800 MHz以外の機器を使用していませんか？	周波数帯域が800 MHzのワイヤレスマイクを使用してください。	-

仕様

WS-X77	WS-77
--------	-------

スピーカー部

形式	2ウェイ バスレフ型
使用ユニット	低音用：20 cmコーン型、高音用：2.5 cmドーム型

アンプ部

定格出力	60 W (4)
THD + N	1 %以下 (定格出力時)
マイク1入力	フォンジャック、-55 dBV、10 k 、不平衡、モノラル
マイク2入力	フォンジャック、-55 dBV、600 、電子バランス、モノラル
ライン1入力	フォンジャック、-12 dBV、10 k 、電子バランス、モノラル
ライン2入力	ピンジャック、-12 dBV、10 k 、不平衡、ステレオミックス
ライン出力	フォンジャック、0 dBV、100 、不平衡、モノラル

ワイヤレス部 (2台内蔵) **X77** のみ

受信周波数	800 MHz帯 (806.125MHz ~ 809.750 MHz、125 kHz 125 kHzステップ 30チャンネル)	-
受信方法	スーパーヘテロダイン方式	-
局部発信方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式	-
トーンスケルチ周波数	32.768 kHz	-
受信表示LED	ワイヤレス1、ワイヤレス2	-

システム全体

消費電力 (注)	21 W	19 W
定格消費電力	100 W	98 W
再生周波数帯域	100 Hz ~ 15 kHz	
最大再生音圧	111 dB (1 m)	
寸法	幅 260 mm 高さ 374 mm 奥行 226 mm	
質量	約10.3 kg (電源ケーブル含む)	約10.1 kg (電源ケーブル含む)
電源ケーブル	約 5 m	
仕上げ	ポリプロピレン発泡樹脂成形、塗装品	

(注) 電気用品安全法の技術基準に基づく表示です。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は...

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレスパワードスピーカーシステム / パワードスピーカーシステムの補修用性能部品の、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

18ページに従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	ワイヤレスパワードスピーカーシステム / パワードスピーカーシステム
品番	WS-X77 / WS-77
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年 月 日	品番	WS-X77/WS-77
	販売店名	☎ () -		

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410